

西福寺寺報 **道** - michi -
2025 (令和 7) 年 歓喜会号

恋しくば 南無阿弥陀仏をとのうべし
母も六字のうちにこそすめ (道場六三郎さんの母の遺言)



歓 喜 会 法 座

8 月 4 日 (月) 昼席 (13:00~15:30 ころ)

夜席 (19:30~21:00 ころ)

5 日 (火) 朝席 (09:00~11:30 ころ)

昼席 (13:00~15:30 ころ)

ご法話 信心正因 一聞くところをよろこぶ一

講 師 讃嘆舎諸氏 (青年僧侶の布教勉強会)

4 日昼

前寺信徳氏 (広島市 万福寺)

藤井大樹氏 (広島市 教雲寺)

4 日夜

住職

5 日朝

水戸法道氏 (東広島市 明顯寺)

平 慈敬氏 (広島市 西應寺)

5 日昼

細馬洸紀氏 (呉市 誓光寺)

藤井大樹氏 (広島市 教雲寺)

蓮華会法座
YouTube 配信 URL

4 日昼席 4 日夜席 5 日朝席 5 日昼席

上の QR コードを読み込み、YouTube にリンクすると、すぐにお聴聞することができます。

寺報を読み終わった後はしまい込まないで、ご家族みなでご覧ください。
子どもさん、お孫さん世帯など用に 2 部以上必要な方は、お知らせください。

※題字「道」は本願寺蔵『顕浄土真実教行証文類』総序より

浄土真宗本願寺派
(本山：西本願寺)

多聞山

西 福 寺

〒739-0152

東広島市八本松町吉川 153-2

TEL: 082-429-1038

FAX: 082-429-1398

仏教婦人会月例法話会
(お寄り講 13:30~15:00)

8 月お休み

9 月 22 日 (月)

西福寺庫裏 (東郷担当)

10 月未定 (本郷担当)

お経会 (大人の寺子屋)
(毎月第 3 木曜日 13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む

8 月お休み

9 月 18 日

10 月 16 日

11 月 20 日

オアシス法話会
(毎月第 4 木曜日 13:30~15:00)

『不安に寄り添う』

8 月お休み

9 月 25 日

10 月 9 日 (第 2 木曜日)

11 月 13 日 (第 2 木曜日)

土 曜 学 校
(毎月第 2 土曜日 9:00~10:00)

8 月 23 日 (第 4 土曜日)

17:00 ~ 夏の寺子屋

9 月 20 日 (第 3 土曜日)

10 月 11 日

11 月 8 日

Contents

2 3 お寺だより 4 5 お知らせ

6 浄土真宗のことは入門 広辞苑編

7 浄土真宗のことは入門 『正信念仏偈』

法座

お寺だより

7月8・9日
蓮華会法座

【ご法話】「西福寺のありがたい話」 讃嘆舎諸氏 (青年僧侶の布教勉強会)

【8日昼】 参拝者11名 お勤め 『三奉請』 『表白』 『正信念仏偈』

【8日夜】 参拝者11名 お勤め 『しんじんのうた』

【9日朝】 参拝者8名 お勤め 『正信念仏偈』

【9日昼】 参拝者10名 お勤め 『正信念仏偈』

【仏教讃歌】 『芬陀利華』

【ご法話ご讃題】

8日昼 水戸法道氏 (東広島市西条町下見 明願寺)

生死の苦海ほとりなし ひさしくしずめるわれらをば 弥陀弘誓のふねのみぞ

のせてかならずわたしける (高僧和讃) 龍樹讃

8日夜

水戸法道さん
ギターライブ法話

『白道』 『むかし、むかし』

蔵菩薩様が『船』

(オリジナルソング)

9日朝

内藤良誠氏

(三原市大和町 明圓寺)

一切善悪凡夫人 聞信如来弘誓願 仏言広大勝解者 是人名分陀利華

一切善悪の凡夫人、

如来の弘誓願を聞信すれば、

仏、広大勝解のひとつの

たまへり。

この人を分陀利華と名づく。

『願浄土真実教行証文類』

行文類 正信偈

水戸法道氏

なほ磁石のごとし、

本願の因を吸ふがゆゑに。

『願浄土真実教行証文類』

行文類 一乗偈 一乗嘆徳

柳父一道氏

(広島市安芸区 品秀寺)

煩悩を具足せる凡夫人、 仏願力によりて信を獲得す。 この人はすなはち凡数の長 にあらず、これは人中の分 陀利華なり。

(入出二門偈頌)



盆踊りの練習

8月1日(金) 13:30~15:00 ごろ

ご予約の合う方は
ぜひご参加ください。



西福寺



西福寺歓喜会盆踊り
8月4日(月)
13時から

※4日昼席後に変更しました。

歓喜会法座昼席(本堂)

お勤め、ご法話 終了後

盆踊り(本堂・広縁)

みんらん寄願 よしかわ小唄

どなたでも参加できます。

盆踊りは
お念仏に出遇えた
歓喜の踊り

歓喜会法座次第

一、お勤め

4日昼席 『正信念仏偈』

夜席 『しんじんのうた』

5日朝席 『正信念仏偈』

昼席 『正信念仏偈』

一、『浄土真宗の教章(私の歩む道)』より「教義」「生活」「宗門」

一、『聴聞の心得』

一、ご法話前半(約30分)

一、仏教讃歌

YouTube saifukuji_inweb 最新情報

チャンネル登録者数	645
チャンネル視聴回数	114,553 回
総再生時間	18,912.4 時間

蓮華会法座アーカイブ

7/8 昼席		7/8 夜席		7/9 朝席		7/9 昼席	
--------	--	--------	--	--------	--	--------	--

(2025/07/19 現在)

仏教婦人会

7月11日
月例法話会

【場 所】波光三千春様宅(下横野)

【参加者】20名

【お勤め】『正信念仏偈』『御文章』『一念大利章』

【ご法話】『なるほど浄土真宗』より『回向ということ』

お経会 (大人の寺子屋)

7月17日

【参加者】6名

【お勤め】『正信念仏偈』『正像末和讃』『三朝浄土の大師等』哀愁授受したまひて真実信心すすめしめ 定聚のくらしいにいれしめよ」より6首 『御文章』『信心獲得章』(『御文章 ひらがな版』122ページ)

【ご法話】『正信念仏偈』『建立無上殊勝願 超発希有大弘誓』第35願「女人往生の願」

オアシス法話会

6月26日

【参加者】8名

【お勤め】『正信念仏偈』『正像末和讃』『菩提をうまじきひととはみは 専修念仏にあ

たをなす 頓教毀滅のしるしには 生死の大海はもなし」より6首 『御文章』『一念大利章』(『御文章 ひらがな版』164ページ)

土曜学校

7月12日

【参加者】8名

【お勤め】『しんじんのうた(1)』

【絵 本】『幸福の王子』原作/オスカー・ワイルド 作/ジェーン・レイ 訳/木原悦子 (日本キリスト教団出版局) 『ねこじたのにお茶がすき』作/今江祥智 絵/さめやゆき (淡交社)

【持ち物について】

『せいてん』(お経の本)はお寺でお配りします。「ねんじゅ」(珠数)と「しきしゅう」(門信徒用の輪袈裟)はご自宅にある物をお使いください。また必要な方には、土曜学校お参りセット(念珠・しきしゅう・せいてんバッグ)を2000円でご用意します。ご購入ご希望の方は、ご注文ください。

西福寺夏の寺子屋

【日 時】8月23日(土) 17.00~19.00 ごろ

【対 象】小中学生(保護者または兄弟同伴の場合は小学生未満も可)

【会 費】おひとり1,000円(小学生未満 500円)

【持ち物】ねんじゅ せいてん しきしゅう※せいてんをお持ちでない方はお寺で用意します。

【日 程】17:00~ おつとめ ほとけさまのお話(本堂)

18:00~ バーベキュー大会(境内)

初めての子、吉川地区以外の方も大歓迎!! 途中からの参加も大丈夫です!

土曜学校 OB・OG スタッフ募集(高校生以上の参加費は無料)

△小学生未満の参加は、必ず保護者または兄弟同伴にてお願いいたします。

参加ご希望の方は、8月20日(水)までに

tamon.saifukuji@kokeshoja.jp または 090-7771-0892 にメッセージしてください。

【保護者の皆さまへ】

野菜などを持ち寄っていただけると助かります。また当日のご予定が空いていらっしゃる方はお手伝いをお願いいたします。(保護者の参加費は無料)。ご協力よろしくをお願いいたします。

協賛/西福寺土曜学校



安芸教区・東広島組近況

(本願寺派安芸教区)

6月18日

見真編集会議

7月1・2日

第4連区布教使研修会

【場 所】かめ福(山口県山口市)

7月5日

広島別院・安芸教区

全戦争死没者追悼法要並びに原

爆忌80周年法要

7月22日

見真編集会議

7月28日

安芸教区保護司会総会記念講演

(安芸教区東広島組)

6月22日

組仏教婦人会連盟大会反省会

【場 所】西条寺(西条町吉行)

【参加者】坊守 光川秀子さん

7月5日

組寺族婦人研修会

【場 所】西条寺(西条町吉行)

【参加者】坊守

7月6日

組寺族研修会

【場 所】東広島芸術文化セン

ター1くから研修室

7月24・25日

組サマースクール

【場 所】西本願寺・映画村ほか

住職出講

6月20日

寿福寺安居会法座

(東広島市八本松町篠)

7月19日

教得寺夏法座

(東広島市豊栄町乃美)

10月4日

視聴覚伝道研究会
(京都市 西本願寺聞法会館)

俱会一处

浄土での再会を期して

生前のご苦勞を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

感謝

WEB 賽銭箱

ライブ配信お聴聞への志 1件

ゆうちょ銀行振込口座

寺報発行への志 2件

いつもお心遣いいただき、有難うございます。

永

代経とは永代にわたりお経が残り、
仏法が伝わっていくということです。

「永代経志」とは、故人の残し伝えてくださった
たみ教えを聴聞する「聞法道場」であるお寺が、
永代にわたり存続することを願って収める志
のことです。故人を永代にわたり追善供養し
てもらうためではありません。

今を生きる私たちが、先人から受け継いだ
教えに出遇うための縁を、後世に伝えるた
めのお供えです。多くは先人の遺志を継いで
お納めされますが、事前にお供えされても構い
ません。

仏教婦人会地区役員境内清掃

7月27日(日) 8:00~10:00 ごろ

※掃除道具は各自でお持ちよりください。

報恩講は、浄土真宗門徒にとつ
て最も大切な法座です。お内仏
でも必ずお勤めいたしましょう。

報恩講は、浄土真宗を開かれ
た、宗祖 親鸞聖人のご命日を
ご縁として営まれる法座です。

本山・西本願寺では、毎年1
月9日から16日までの7昼夜8
日間にわたって法要がとまり
ます。

一般寺院や門信徒宅では、そ
れまでに報恩講をつとめておき
ます。このことを、「お取り越し」
といいます。

報恩講のご自宅へのお参りついて
吉川・原地区のご門徒の方は、
ご希望の日時をお寺にご連絡く
ださい。調整しお参りいたしま
す。前記以外の地区の方は、お
寺からお参りする日時をお知ら
せいたします。ご都合が悪い場
合は変更いたしますので、ご連
絡ください。

準備は、普段のご法事るとき
と同じです。ただし、「朱(赤)色」
のろうそくを
ご用意くださ
い。お勤めは
約30分です。



西福寺作品展

出展作品



募集中

10月20日(月) 21日(火)

【展示場所】西福寺庫裏

【出展資格】この寺報をご覧になった方ならどなたでも。

【出展作品】オリジナルの作品なら、絵画・書・写真・器・置物・短歌・俳句・川柳・詩・など
なんでも可。お一人様何点出展していただいても構いません。

【出展方法】作品をお寺にお持ちいただき、申し込み用紙に必要事項を記入してください。

【出展受付】10月18日(土) 9:00~16:00

今年も、みなさまのすてきな作品をお待ちしております。

ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを
届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗浄済みのキャップをお寺に持ってき
てください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしくお願いいたします。





よろしく
お願い
いたします。

YouTube チャンネル「saifukuji_inweb」

西福寺の法座は YouTube でいつでもお聴聞できます。



こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、なかなかお寺にお参りできない。
- 最近、お寺や仏教のことが気になってきた。

見方はかんたん！

- ①スマートフォン・タブレット・パソコンから
- ②「YouTube（ユーチューブ）」を開く
- ③検索で「saifukuji_inweb」または「多聞山西福寺」と入力
- ④チャンネル登録をすると、更新情報が届きます

チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めも LIVE 配信します。
LIVE 配信時の法座は、**LIVE** マークが目印です。
- 過去のご法座もいつでもお聴聞できます。

お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

※スマートフォンでのお聴聞は、通話料とは別のデータ通信料が必要となります。料金プランによっては高額になる場合がありますので、ご注意ください。

右のQRコードから直接チャンネルを開くことができます。



「西福寺はちす墓苑」新規利用者募集（門信徒（西福寺とご縁のある方）限定）

●新規区画永代使用 30万円（1区画 1m×2m）

※永代管理費、墓石代別

●門信徒合同墓 永代納骨 ひとり5万円（4人以上は20万円）

※納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かり ひとり1万円（年間）

※最長 32 年間。



詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。

浄土真宗のことば入門 広辞苑編

お・ちる【落ちる・墜ちる・墮ちる】

自上一お・つ(上二)

①支えるものもなく、ものが加速度的に下に移動する意。

①上から下へ急に位置が変わる。落下する。墜落する。

②降る。

③花・葉などが散る。また、涙などがこぼれる。

④日・月が沈む。没する。

⑤光や視線などが、あるものに注がれる。また、影などが物の上に映る。

⑥勢いよく降りる。また、風が吹きおろす。⑦

くずれおちる。こわれる。

②物事の程度が急にさがる。

①おちぶれる。零落する。

②墮落する。

③衰える。減る。

④低くなる。劣る。

③物・事柄・人などがある所からなくなる。他に

へいつてしまう。

①ついていたものがとれてなくなる。欠ける。

②もれる。ぬける。

③熱・つきものなどがとれる。癒える。

④力などがぬけてなくなる。失せる。消える。

⑤戦いに負けなどして逃げ去る。また、都から

離れて地方へくだる。

④《墮》(穴などにおちこむ意から)仕かけ・は

かりごと・罪悪など、また、抜きさしならない

状態、昏睡状態などにはまりこむ。

⑤《落・墜》物事がある終局にまで達する。

①精進が終わる。

②問いつめられて自白する。

④くどかれて意に従う。なびく。

⑤けもの・鳥・魚などが死ぬ。

⑥《落》物・事柄の所属・結果がきまる。

①帰する。落ち着く。きまる。

②その人の所有となる。

③(多く「心に―・ちる」「胸に―・ちる」などの形で)納得する。了解する。

④収支決算がきちんと合う。

⑤(隠語)判決が確定して入監が決定する。

一般には「落」。墜落などの意には「墜」も、墮

落などの意には「墮」も使う。

お・りる【下りる・降りる】

自上一お・る(上二)上から下への移動を示す

が、到達点に焦点をおく点で「さがる」と異なり、目的・意図のある作用を示す点で「おちる」と異なる。

①高い所からだんだんに移って下の位置・場所に

着く。また、そのような状態になる。

②車・舟などの乗物から出る。

③貴人の前から退く。退出する。

④位を退く。職を辞す。役がらをことわる。

⑤勝負事などで、参加する権利をすてる。また、

役から退く。「つきが回ってくるまで絶対に―

りない」

⑥《下》役所などから指示や決定などがくださ

れる。

⑦《下》体内から、下に出る。

⑧露・霜・霧などが置く。

⑨固形物が磨すられて粒子状になる。

用字で、「下」は「上」の対、「降」は「乗」「登」

の対になる意味の場合に使うことが多い。

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

〔「広辞苑 第七版」〕

毎日、猛烈な暑さが続いています。この暑さを「地獄の金が開いたようだ」と表現すること

があります。地獄は猛火に満ちていることから、

このように言われるようになったのでしよう。

もともとは、正月とお盆には閻魔大王と鬼た

ちが休むため、金が開かれたことが由来です。「こ

のときぐらいいは、仕事を休んでゆつくりしよう」

いう、ポジティブな意味で使われていた言葉です。

ところでみなさまは、地獄はどこにあると思

いますか。「地獄に墮ちる」と言いますから、下

にあるのでしょうか。善い状態からだんだんと

悪くなっているって、結果として地獄に往く、上

から下へという移動をするのが「おちる」とい

う言葉に込められているように思います。地獄

のような状態とは、今いるところから、状況が

悪くなることなのかもしれません。

げんそう 還相

往生に対する語。還来穢国の相状という意。浄

土に往生した者が、再び穢土に還り来て、他の

衆生を教化して仏道に向かわせるすがたのこと。

また、従果還因の相状の意で、往生成仏の証果

を開いた者が、果より因に還り、菩薩の相を現

して自利利他の徳を現示すること。

〔「浄土真宗辞典」本願寺出版社〕

阿弥陀仏の浄土に往生し仏と成るのは、到達

点でなく通過点です。さとりを得た者の到達点

は、いまだ迷いの中にいる、わたくしたち衆生

を浄土へと導くために「降りた」先にあるのです。

お念仏のなかに生き抜かれた人の到達点は、「今」

「ここ」です。阿弥陀仏の願い、救いのはたらき

である、「南無阿弥陀仏」の声となって私の身に

「おりて」きて、導き続けてくださっています。

浄土真宗のことば入門 『正信念仏偈』 その59

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

〔浄土真宗聖典 註釈版〕願浄土真実教行証文類行文類

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大いなる誓いをおこされた。

〔浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類-現代語訳〕

第6願「設我得仏 国中人天 不得天眼
不至不見 百千億那由他 諸仏国者 不取
正覚」(令得天眼の願)

たとひわれ仏を得たらんに、国中の人天、天眼を得ずして、下百千億那由他の諸仏の国を見ざるに至らば、正覚をとらじ

〔願浄土真実教行証文類行文類 浄土真宗聖典註釈版〕16ページ

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が天眼通を得ず、数限りない仏がたの国々を見とおすことができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

〔浄土三部経-現代語訳〕〔本願寺出版社〕

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、少なくとも百千億・百万の諸世界を見るだけの超人的な透視力(天眼通)を持っていないようであつたら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

〔浄土三部経(上)〕中村元・早島鏡正・紀野一義訳注〔岩波文庫〕

仏教一般の説によりますと、自分の宿命と同時に人の身の上を知る。ある人はこうなっていくのだというふうに、自分の宿命がわかるばかりでなく、人の宿命がわかる。六神通のことはもっとくわしく申せば、いろんなことが出てきますが、かように自他の宿命がわかれば、人がたとい悪いことをして栄えていても、これに対して妬まず、嫉まずにいくことができる。もっとわかればそれを憐れんでいくことができる。そういうふうな落ちつきかたができるということが、宿命通につぐ、天眼通であるといわれて

いるのであります。それは仏教一般の説くところによるのであります。

しかるにここでは天眼通とは「諸仏の国を見る」ことになっています。しかれば広く知識を求め自覚を深めることも天眼通でありましょう。われわれがお経を読みお聖教を読み、学問をするのは何のためにするかというと、自分の出離生死の要求、自分がほんとうに救われていきたいという願いを訓練するためである。その願いのはじめは不純なものでありますから、それを教えによって訓練してもらわねばならない。だから教えによって訓練され、ほんとうにその願いが純粋なものになれば、そこでわれわれは救われるのであります。

そういうふうに見ていきますと、天眼通というのは人間の知識の満足でありましょう。天眼ということは、つまり肉の眼で見えないものを見るのであります。すなわち諸仏の国を見るのである。科学には科学の仏あり、哲学には哲学の仏あり、それぞれのものにはみな仏がある。それぞれに智慧の天眼を開いて、そうしてどこまでも知識の要求を満たすのであります。

〔四十八願講義〕金子大榮著〔法蔵館〕

浄土に至るものが天眼通を得るとは、わたしたちが、仏の智慧によってどのように救われていくのかをお示しくださっています。正しく物事を見るとは、智慧による視点をいただくということです。それは外の物事をみるだけでなく、自らのいのちの有り様、行方を見ていく眼をいただくのです。



Photograph Collection

土曜学校



蓮華会法座



内藤良誠氏



水戸法道氏



柳父一道氏



細馬洸記氏

◆広島県出身のお連れ合いの祖父の葬儀で、初めて浄土真宗の仏壇を見た人が、「金色に輝き、大きく開かれていて、みんなを導くぞという感じを受けた」と話してくれました。お勤めなども、すべて新鮮で珍しかったそうです。◆「安芸門徒」といわれるように、広島は浄土真宗が盛んな地域です。周りがほとんど真宗門徒なので、当たり前のように、見過ごしているものがたくさんあるのかもしれない。◆お盆になるとお墓に紙燈籠を供えるのも、単なる習慣になっ

庫裏つゝ

ていないでしょうか。もともとは、「亡くなった方々は、いまも阿彌陀仏の光となって導き続けてくださっている」と受けとめさせていたためです。「先人の導きによって、お墓参りを忘れないようにしたいものです。」



2025 (令和7) 年
迦羅羅法語カレンダー法話集

『不安に寄り添う』

(月々の法語 第33号 迦羅羅塾編)

1冊 300円で販売中

毎月の法語についての法話が掲載されています。
住職は9月を担当しています。
購入ご希望の方はお寺までお申し込みください。

ゆうちょ銀行振込口座

安全面の観点から、ホームページ掲載のPDFには口座情報を載せていません。
お振込みをご希望の方は、お寺までお問い合わせください。

WEB 賽銭箱設置

HPからお賽銭を

お納めいただけます。

(クレジットカード専用)

ホームページの
「WEB賽銭箱」ページ
をご覧ください。

個人名、もしくは連名でのご寄付、ご寄進につきましては、事前に住職とご相談くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、随時受け付けております。

Website



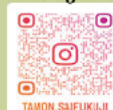
YouTube



facebook



Instagram



LINE 公式アカウント



X

